

平成 16 年 7 月 12 日

学園の教師の皆さんへ

理事長 中橋 清一
学園長

—— 夏休みを迎えるに当たって ——

すべての教室でコンピューターやインターネットを使った分かりやすい授業をする。 —— 国が掲げる「学校教育の情報化」の目標年度の 2005 年度が迫ってきた。

I T(情報技術)を活用した新しい授業や指導法のさまざまな取り組みが登場しているが、情報化された学校の姿はいまだにはっきり見えない。

教育の情報化で学校はどう変わるのか、どんな授業、学習が行われるのか、先進的な取り組みをしている学校 —— 岐阜県の中学校をたずね、学園はこの 4 月から I T 教育の実施に踏み切った。

ハイテク化とグローバル化が進む今の社会は、社会が必要とする高い能力を身につけた人材の育成を求められ、教育の理論も現場も混乱を極めている。

この難題を解決するにあたって、教師が最も重大な使命を担わされているのは当然である。

学園では、個々の生徒のニーズに目を配り、柔軟な対応ができる教師が求められている。

「良い教師」の定義は何か。「良い教師」の最大の条件は必ずしも学科に関する知識ではない。生徒が必要としているものを与えるために、献身的な努力を惜しまない姿勢がなにより重要である。

どこの国でもそうだが、学校は社会状況を反映するものである。我国では「大きな社会構造改革」が進められているなか、学校も大きく変わろうとしている。

子供たちは、学校に行く意味を見いだせなくなってきた。これからの教師には、生徒を授業にうまく取り込む技術が必要になる。教師の力量が今まで以上に問われる時代になってきた。

他校に先がけて、学校 I T 化に踏み切った学園がコンピューターで分り易く授業ができる教師を如何に多く輩出するかが、学園の未来の盛衰を決めることになるのは明白である。

私の理事長室を尋ねた子供に「先生はどんな人？」と言うと、「冗談が面白い」「教え方が上手」「楽しそう」という答え。

夏の間「力」をつけて下さい。

以上